

刊夕日七廿月六

常警每日新聞

定価 一月五拾銭 三月一拾五銭 半年二拾五銭 一年四拾五銭
 廣告料 五號十二字 第一行 金五拾銭
 日曜 祭日の日 休刊
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞株式會社

三願轉入の信仰

眞 繼 雲 山

阿彌陀佛の四十八願とは俗語門に立ちて冷やかに人間的に考ふれば、釋尊の理想である、眞諦門に立ち一切の現象界を因縁の化生として考ふるときには、それは久遠實成の阿彌陀佛が末世救済のために、釋迦牟尼佛を伽耶城に應現せしめてその本願を説かしめられたものである。

佛はれた。第二十願とは、念佛の一行に諸善萬行の功德は含むものであるとして、自力をもちて念佛の功德にすがらんとする自力の上に組み立てられた他力の教へであつて佛土宗これに當る、故に念佛を稱へることは、この宗の生命であり、往生の正因なりとされる。

彌陀の本願といひ、釋尊の理想といふことは人間の救はるべき道の指示である如何にして救はるべきやにつき親鸞聖人は四十八願中の第十八願、十九願、第二十願の三願に眼をそそがれて結局、人間の救はるべき道はこの三願の外にはないと決別せられた。

阿彌陀佛を全く信せぬものが念佛を稱へる筈はないそこで第十八願とは苟くも阿彌陀佛を信じて一聲の念佛を稱へるやうになつたことは、それが阿彌陀佛の稱へしめ給ふ佛力の催しであり、現の證據であるとして念佛そのものを他力の現はれなりとする、謂はゆる絶對他力の宗門であつて淨土眞宗これに當る、故に眞宗において信ずるといふことが、往生の正因であつて、念佛は必ずしも救済の條件ではない、たゞ、信後の報恩感謝のあらはれとして念佛は自然に湧き出るのであり、左様に湧き出ることさへも佛様の御催しであるとする以上が謂はゆる三願轉入といはれるものである。

第十九願とは善本を植え菩薩行を修しその功德によつて成佛を期せんとするの道である、禪、天臺、華嚴法華の聖道諸宗これに當る若し眞に自力を以つて聖者たり得ば十九願によりてその成佛も叶ふことであるが聖道門とは既に聖者たる人の歩むべき道であつて、これより聖者たらんとする凡夫の必ず到り得る道でないとして親鸞聖人は、これを

歸 途 小 禽 古
 からたらののはなの悲しみ
 白い心のはかなさざとりと
 めなく……
 いのちのやうな花のうろこ
 は落ち
 草の上に可憐のまぼろしを
 書ける
 汗ばみしぶるさと戀ふる心
 からたらのいたき垣を通し
 て
 じつとみつめ合つた
 乙女の姿浮ぶ此道



運動靴は……
 品質は斯界の王
 名入れ金具付きの
 サーピス
 平田町
 大塚運動具部
 電話七七番

難波醫院
 平町新川町
 電話五〇二番

度量衡、計量器、吸入
 用酸素、酸素吸入器
 關内藥局
 電話四〇番

耳鼻咽喉科専門
 増田醫院
 平南町 (電話四八二番)

齒科 東京醫學士 中村文一
 平町鍛冶町 吉田吳服店西隣

貯金は福島貯蓄へ
 預金には税金がかかりません
 御子様のため貯金
 平町田町(新道通り清水醫院跡)
 福島貯蓄銀行
 平支店
 電話三〇八番
 預金と拂出し御融通も懇切御便利を旨とし
 月掛貯金には集金人が伺ひます

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

川本 本場新茶入荷
 一斤に付、四〇より 一、〇〇〇まで
 新家庭用ほうじ茶
 斤 六〇 四半斤 一五銭
 斤 四〇 〃 一〇銭

御家庭用
 京清水焼
 御前茶器
 番茶器
 組三〇銭
 在荷豊富
 香味本位の本場銘茶を
 召上りませ
 電三九六番
 大勝園

セメント 磐城セメント株式會社
 壁用材料
 コールタール 代理店 西村屋藥舗
 ペンキ塗料
 板 ガラス
 平町二丁目電三

うなぎの御用は……
 電話五四七番へ
 うなぎ
 料理 江戸川
 平館前通り

初夏の海は……
 トテモはからかです
 新緑と情熱の……
 ローマンスと郷愁の海邊へ……
 一日の清遊を
 お試みになりませんか
 尼子タクシー
 電六四〇番

月曜言論

滿蒙の再吟味

滿洲國に於ては斷乎として意を決する處あり本日から大連海關を接收して、印鑑も中華民國の文字を滿洲國海關と改め、執務を開始する事になつた、當然來るべき事實が今茲に到來したものと云へ、我國及び滿洲支那の三角關係は極めて一層デリケートなものとなつて國際的紛糾を免れぬ形勢を示して居る、今後問題の展開方向に依つてはどんな事態を醸生するに至るやも圖り知れず、正に東洋のピンチは懸つて同問題の推移如何に據る、此の重大時に際し舉國一致内閣の力が果してどの程度の活用を發揮するか、その舉措進退の飽迄妥當性を失せざる事を暫らく信頼すると同時に、此際國民の用意として、是事變後、即ち滿洲國建設後の滿蒙再可味を必要とすると思ふ、此の意味に於て今回駐屯將士慰問の爲めに滿蒙の地を親しく實査して歸れる縣參事會員の井上茂作、野崎滿藏兩氏及び在郷軍人分會の藤田榮助、羽岡平三郎、藤井一三氏の明日聚樂館に開かれる講演會に多大の期待を持つものである。

一ヶ年の短期では返濟出來ぬか 平町は肥料購入 低資申込みなし

既報農村救濟の一端として今回本縣に割當られた六十七万圓の肥料購入資金低利貸付は既に本月十三日より平町役場にて受付を開始して居るが未だ一口の申込みもない。是れは平町の僅少な農家は主として小作人が多く返濟期間が僅か一ヶ年の短期では米價安の昨今到底返濟し得る確信がない爲めであらうと

植田 頗る閑散 市場

桑不足で掃立三割五分減

石城郡植田、勿來方面の春繭は天候不順の爲め桑葉不熟のもの多く例年に比し掃立三割五分の減収と見られて出廻最盛期にある植田市場は成績不良で割合に閑散である

設備に管理に 教育刷新申合せ

既報石城郡下小學校長委員

會は一昨二十五日午前十時より平第一小學校に於て開かれ會長會我直治氏より提案された本部教育刷新上努力すべき事項如何諮問に對し各々意見を交換したが結局左の如く努力する事に決定した

- 一、講堂及び屋内体操場の建設
二、特別教室の設備
三、郷土室の設備
四、衛生室の設備
五、各科教授上の設備
六、兒童學習文庫の設備
七、教育參考圖書の設備
△管理
一、一學級兒童收容人數の減少を圖る事
二、補助教員並専科教員の設置を圖る事
三、高等小學校改善の趣

旨徹底を圖り實習設備の充實を期する事
四、情操陶冶に資する教育施設を經營する事
△其他
一、教權の確立を期する事
二、教育後援機關を設くる事

夏休を利用し 兒童の行商隊

平職業紹介所が 指導法を研究

平職業紹介所では今夏の暑中休暇を利用して連絡各小學校兒童の就職希望者に行商の實地を指導せしむべく多數の兒童をもつて行商隊を組織し郡下各町村を巡廻して實際修學をなさしむる計劃で目下是れが指導法に就いて研究中であると

昨日の野球戦 田中折角の チヤンスを 逸して敗北

中大勝した

既報田村中學の遠征軍を迎へて對磐城中學校の野球戦は昨日午前十時半より磐中グラウンドに於て國井(球)石坂(一)小野(二)鈴木(三)各審判の下に磐中先攻にて開始されたが田中他所行き氣分が固くなつて振はずそれに引換へ磐中杉浦投手のコンディション頗る良く見事にバツテングを封じ最初から斷然リードし左の如く十二對一の好スコアにて磐

古鍛冶組勝つ 廿六
日午前九時から平第一校庭に於て古鍛冶組對世界館の野球試合あり十一A對六で古鍛冶組の勝利となる
古 102503A
一 二三四五六七
世 2220000 6

(一)國井(二)大平(三)各審判の下に平商先攻にて開始されたが平商雪辱戦の事として選手の意氣込み物凄く最初より打つ氣に出たが田中橋本投手もさるものよく此れを封じ互に投手戦となり大接戦を演じたも田村中學守備バツテング共に振はず二回程到來した折角のチヤンスも平商赤坂投手に封ぜられて此れを逸しラスト

珍プレイ續出の 平鐵道俱樂部庭球戦

一週間全校生に對し定期學力考查を施行すると

十四錢高 大浦米入札

石城郡四倉驛前大浦農時倉庫の米共同販賣は廿五日午前十時より行はれ出品百六十八俵を入札せる結果四等建値八圓五十一錢を以つて四倉町の渡邊留五郎氏に落札されたが前回入札より十四錢高であつたと

繭市況

四倉市場 廿六日
白繭 五百三十一貫 最高
二十六圓四十錢 最低
二十一圓 買馴二十四圓七十錢
△黃繭 二百二十三貫 最高
二十五圓十錢 最低
二十圓 買馴二十四圓二十錢

中大勝した
村 0000010000
田 一二三四五六七八九
磐中 2100013320
本木木越上尻石藤邊
橋鈴佐大村江白武渡
(投捕)一三遊右中左
浦田中野邊戸平田仲
杉下田荻渡小大戸田

平商學力考查
業學校にては來月一日より

簡易保險を種にする 不徳者が横行

▽…解約を条件として 証書を買占め暴利を貪る 加入者の大損失

近時農村及商工業者等の不況に乘じ巧に之を利用して簡易保険加入者を偽購し簡易保険の既加入契約を解約する事を条件として保険証書を低價に買入れる者又は

「簡保」の募集にも御用心肝要
元平郵便局の局員で退職した者とか其他の者が現局員を装ふて新規契約の募集をする者が最近跋扈し保険料は支拂つたが保証証書は何日経つても届かないとか其種々の事故があると云ふ照會が来るそうだが勧誘員が来た時は現在局員であるかどうかを確かめた上で加入することゝし不測の迷惑を蒙らない様にしたいものである

雷鳴入りの豪雨に 崇られて出漁不能

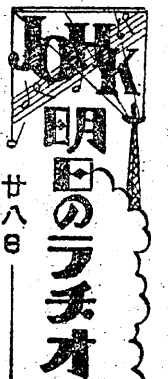
平魚市場には宮城近海の 小魚が小々許り

一昨日及び今日の雷鳴入り豪雨の爲め郡下の近海漁獲は殆んど不可能に陥り平町の各需要者に供給する小魚類の出荷簿に窮した平魚市場では取引も非常に緩慢となり僅に鐵道便に依る宮城近海ものが小々集る許りである

無銭飲食 常習の男

石城郡小名濱町字上町飲食

今晚から 義勇機福女給祭り 島嶼献金の爲め七十餘名に及ぶ平町の女給諸嬢も今晚より四日



今夜は北東の風 曇時々晴明日は 北東の風曇の見込

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「高山彦九郎」栗野秀穂
- 後六、二〇 コドモの新聞
- 櫻葉勇
- 後六、二五 カレントトピックス
- ハロルドパーマー
- 後八、〇〇 ラヂオ風景
- 「モダン彌次喜多」徳川夢聲
- 後九、四〇 全国ニュース
- 氣象通報 番組豫告
- 明日の部
- 後九、一〇 料理献立「サテーヂ」に展會する事になつた

明大の正服を着た 身元不明の轢死体

今晚五時二十分湯本驛發仙臺行旅客列車が傾城トシネルに差懸つた際明大の正服を着用せる學生風の男が同列車目掛けて飛び込み脚体を真二ツに轢断されて即死を遂げたので同列車は直に停車湯本驛に急報係官が出張

数名の生徒を 忍かに取調べ

磐中に又もヤリンチ事件

磐城中學校にては今朝來校長室に生徒數名を呼出し忍かに橋本校長取調べを行つてゐるが仄聞する所に依れば五年生五六名が三年生某を袋叩きにした事件らしく此の内には前回のリンチ事件で處罰された者もある模様で當局は非常に困惑の態である

スリ犯の公判

平町字仲町二番地綿商前科九犯遠藤忠藏(四七)が本年二月十四日午後七時頃四丁目トモビル前道路に於て手品見物中の五丁目岡部義重の左袂内より學生監督券在中

嬰兒殺し公判

來月九日に開かる

既報石城郡飲野村大字上荒川字林作四十八番地看護婦鈴木トヨ(三三)が分産した嬰兒を締め殺し屍体を遺棄したる事件は殺人罪として豫審終決したる十五日陪審裁判を辨退したが來月九日午前九時より平支部公判廷に於て中島裁判長係り竹内、關口兩判事陪席市川檢察立會千葉辯護士列席の上公判開廷する

刑務所を出て 歸りの道草

今朝五時頃長橋地内を徘徊する一青年を平署員が怪み本署に引致取調べると同人は茨城縣眞壁郡黒子村字辻生れ塚原正吉(二〇)と云ふ本年四月盛岡少年刑務所を出て歸郷の途中仙臺、原町等で雜夫に住込んで主人の物を失敬逃走し廿四日四倉町に入込み數件の空巢覗を働いた旨自白したので目下取調中である

横着料 七十圓

無燈火の處分

既報去る十八九の兩夜平署にて行つた市内無燈火取締に依つて告發された者は總數七十三名の多數に上り此

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫

第八十六席 眞庭念流達人櫻井五助

眼玉が来たぞ

客人と下女が言争つてゐる帳場に居た三河屋の主人が見て

亭『どうもお客様失禮を申しまして、イーエ慣れませ

ん奉公人でそれゆゑ御座敷が無いなどと申しまして

男『さうかでは泊めておくンなるるね』

亭『どうぞお泊り下さいまし』

亭主もこの人は大丈夫と見て取り下座敷に通された

廿七八になる俠な男

男『姐さん、湯は沸いたかナ』

女『まだお湯は沸きません』

男『然うか、では湯を持つて来ておくれ、藤岡の親分の歸るまでまづい茶菓子を喰ひながらぼんやり待つて居られねえ、酒を早く持つて来てくんナ』

女『ハイお肴はなんにいたしませう』

男『大層な事を云ふナ、此處は甲州身延山下、海に遠い所だ、鯛の刺身を持つて来てくれと云つたところであるめえ、玉子焼でも拵へてくんナ』

女『ハイ』然う申しませ

う

男『それから姐さん、是は帳場へ届けておくそれにこの二米はお前の小遣だ』

女『どうもお氣の毒さまでございます』

女中は夫を持つて行く間



もなく亭主が羊羹にお茶を附けて持つて参り

亭『只今はお茶代を有難う存じました』

男『親分でございますか、久し振りでお目にかゝります』

日は暮れた

○『オツ珍らしいナ藤太郎何時此方へ来た』

○『さうか眼玉が来たぞ』

○『親分今日はお芽出度うございました』

○『さうか藤太郎が来た』

○『どうしたい眼玉の兄貴久しく音信が無えから心配して居たが、さアさ此方へ来なせえ』

○『親分今日はお芽出度うございました』

○『イヤ嘘ぞおめえ方も疲れたらう、湯にでも入つて休息するが宜い、さア藤太郎此方へ来い、どうした』

居た』

藤『どうも威張つて話の出来ねえところに居りまして』

慶『何處だ、その威張つて話の出来ねえところに居りまして』

慶『何處だ、その威張つて話の出来ねえと云ふ處は』

藤『何んでございませう、長町裏に居りまして』

慶『成程威張つて話の出来ねえ處だ、江戸ならば場末京都の目暮大阪の長町などは千兩箱の無え處だ、何うして又そんな處に居たんだ』

藤『それには理由がございます』と云ひつゝ膝を進めた眼玉の藤太郎が女の涙んで出した茶を嗅みました。

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性

林病 十二指腸 腸胃病

門專 院醫科 村松

平南町 電話一七〇

科人婦・科外

院醫坂井

平南町 電話五五九

貨切の●●●

御用命は？

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……………(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

旭硝子株式會社製品

赤菱印 **板ガラス**

製造 菓子食器 硝子壺 其他各種

賣販

松崎硝子製作所

平南町新川町(電話一四二番)

仙臺市榮町(電話五九七番)

平新川町十九

木村病院

電話一六四番

産科 婦人科 院長 木村寅次郎

内臓外科 整形外科 松永憲一

涼味百パーセント菊地の白靴

お若いお方にノーズ型

最新角型はモダン好み

お中年のお方は先細型

とてもシイクて値が安い

当店自慢のリネンシュー

三、二〇〇ヨリ……………五、〇〇マデ

平四 **菊地靴靴店**

電話(呼)四三六

旭硝子株式會社製品

赤菱印 **板ガラス**

製造 菓子食器 硝子壺 其他各種

賣販

松崎硝子製作所

平南町新川町(電話一四二番)

仙臺市榮町(電話五九七番)